

令和8年度

地域とともにある学校づくり

田無第二中学校 3年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：
(活動名)

「問いを深め、西東京市の未来を描く」

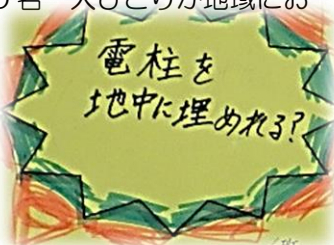
ねらい：

- ・本学習は、第2学年の取組を深化し、西東京市の現状と課題を理解し、地域社会の発展に向けた提案と自分たちにできる事を考えることで、ふるさとへの愛着を深めさせる。
- ・地域の人とのかかわりや地域資源等を調べることを通して、問題解決力を実践的に育む。

【4月13日】

○地域における130のなぜを挙げよう

本探究学習は、第2学年の取組をさらに深めて「西東京市の現状と課題」を理解し、地域社会の発展に向けた提案を行いながら、ふるさとへの愛着心を深めることをねらいとしています。導入として、3学年130名一人ひとりが地域における「なぜ」を挙げ、班でミニカードにまとめて廊下に掲示しました。

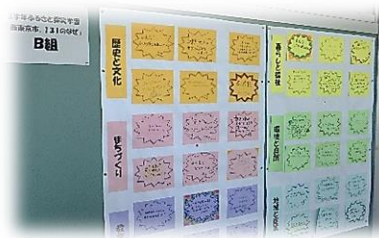


【4月20日】

○探究テーマを決めよう

探究テーマを以下の6つのグループに分けて、課題を決定しました。

- A「暮らしと福祉」・B「環境と自然」・
C「地域の産業」・D「歴史と文化」・
E「まちづくり」・F「教育と未来」



【5月13日】

○まちなか先生による特別授業を通じてふるさとを再発見しよう

社会の授業を利用して「地形・地理から西東京市の歴史文化を考える」取組を実施しました。校舎近くにあるフラワー通りの古い歴史など、探究学習にも役立つお話をいただきました。



【5月20日・25日】

○事業所に訪問しインタビュー調査をしよう

給食後に事業所に向けて出発。事業所の方々に実りある話をさせていただき、充実感溢れた表情で帰校しました。早めに帰校した生徒は、早速スライド作りに取り掛かりました。

【6月上旬】

○インタビュー調査結果をまとめよう

探究の過程で、自分たちの予想とは異なる現状を知ったり、調査方法に迷ったりする場面もありましたが、話し合いを重ねる中で、新たな問いが生まれ、学びが広がっていきました。インタビュー調査で得られた情報を整理し、ポスター作りやスライド作りにとりかかり、発表に備えていきました。



【6月11日】

○学級発表会

6グループがそれぞれのクラスに分かれて、スライドを用いた発表会を行いました。インタビューにご協力いただいた事業所の方々にもご来校いただき調査の成果を発表しました。地域の課題を自分事として捉え、将来どのように関わっていききたいかを述べるグループもありました。



【6月15日】

○学年発表会

代表班を6グループ選出し、さらなるリハールを行った上で、体育館にて学年発表会を実施しました。CSの方々や保護者の方々にもご来校いただきました。生徒も地域に対する興味関心が高まり、愛着も深まったようです。

【探究学習にご協力いただいた団体の方々】（敬称略）

- ・高齢者センターきらら
- ・保谷障害者福祉センター
- ・地域子育て支援センター
- ・ひばりが丘児童センター
- ・自然を見つめる会
- ・西東京いこいの森公園
- ・エコプラザ西東京
- ・グラスハープ
- ・ヴァリエ（プチ果房）
- ・ふしみ団子
- ・旭製菓本社工場直売店
- ・スワガット
- ・田無神社
- ・い志井菓子店（アスタ店）
- ・住吉小学校
- ・明治屋
- ・明治牛乳
- ・東大附属田無演習林
- ・田無警察署交通課
- ・西東京市役所

住宅課・産業振興課・教育支援課・
みどり公園課・交通課・資源循環推進課

CSとの連携 4月にCSの方に本学習の趣旨やねらいを説明し、学年発表会にはお越しいただき、生徒たちの発表をご覧いただきました。



まとめ

探究活動を重ねていくうちに、調べた内容だけでなく、地域の課題をどう受け止め、今後どのように関わっていききたいかまで述べる姿が見られました。探究学習を通して、「地域を知ることには自分の暮らしや将来を考えること」だと実感できたことは大きな成果です。この経験を、これからの学習や地域活動への参加につなげてほしいと思います。

